

MÉMOIRES 2021

大阪杯

第65回大阪杯(GI)優勝馬 レイパバレ



雨中の逃走劇

重馬場で演じた驚異の逃走劇は、圧巻の4馬身差勝利で幕を閉じた。

2020年の三冠馬コントレイル。自身初の2000米に挑戦する短距離女王グランアレグリア。皐月賞、日本ダービーとコントレイルの2着で「三度目の正直」に燃えるサリオス。多くの注目馬が顔を揃えた一戦は、午後から降り出した大粒の雨により、たっぷり水を含む重馬場での戦いとなった。

ゲートが開くと、好スタートのサリオス、手綱を動かさずウグネリアンやハッピーグリーンらを制してレイパバレが先頭に立った。デビューから5連勝中、前走のチャレンジCで重賞初制覇を達成した4歳牝馬が、スピードの違いを活かして逃げの態勢に入っていく。レース後、川田将雅騎手は「馬場的にも周りの馬的にも、今日はスムーズにハナまで行ってしまおうことを選択しました」と、それが狙い通りの逃げだったことを明かした。

サリオスはそのまま好位を確保し、グランアレグリアは5番手、コントレイルはさらに後ろの中団でレースは進んだ。馬群は縦長、レイパバレのペースは前半1000米通過が59秒8と、馬場状態を考えれば速めのものとなった。

レースが動いたのは3コーナーだった。コントレイルが外から勢いよく位置を上げていき、4コーナーでグランアレグリアに並びかけると、そこからは併せ馬の形でさらに上昇。これに最内のサリオスが加わり、上位人気の3頭が並んでレイパバレを追う形で4コーナーを回っていく。

しかし直線には驚きの光景が待っていた。重馬場の影響もあり思うように末脚を伸ばせない3頭を尻目に、馬場状態の良いコース真ん中に導かれたレイパバレが力強く加速。詰め寄られるどころか逆に突き放していく。最後は追い込んで2番手に上がったモズベッコに4馬身差でゴール。驚くべき圧勝だった。

これでレイパバレはデビュー6連勝、GI初出走で初制覇となった。グレード制導入後、キャリア6戦目でのJRA古馬GI制覇は史上5頭目の最少タイ記録。デビューから無敗でのJRA古馬GI制覇となると、史上3頭目の快挙。まさに底を見せていないニューヒロイン誕生の瞬間だった。



▲4コーナー先頭のレイパバレ(帽色・緑・左)は、手応え十分に直線へ向かう。

デビューから無傷の6連勝でJRA古馬GIを制したレイパバレ。



第65回大阪杯(GI)

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	レイパバレ	牝	4	55	川田 将雅	高野 友和	2:01.6	④	①①①①①
2	モズベッコ	牡	5	57	池添 謙一	森田 直行	4	⑥	⑩⑩⑩⑩⑤
3	コントレイル	牡	4	57	福永 祐一	矢作 芳人	3/4	①	⑨⑨⑥②
4	グランアレグリア	牝	5	55	C.ルメール	藤沢 和雄	クビ	②	⑤⑤⑤②
5	サリオス	牡	4	57	松山 弘平	堀 宣行	1 1/4	③	③③②②
6	カテナ	牡	7	57	鮫島 克駿	中竹 和也	1 3/4	⑪	⑫⑫⑪⑪
7	アーデントリー	牡	5	57	和田 竜二	川村 禎彦	2	⑫	⑧⑧⑨⑧
8	ブラヴァス	牡	5	57	三浦 皇成	友道 康夫	4	⑩	⑪⑪⑪⑪⑪
9	アドマイヤビルゴ	牡	4	57	岩田 望来	友道 康夫	1/2	⑦	⑦⑦⑧⑧
10	ベルシアンナイト	牡	7	57	幸 英明	池江 泰寿	1/2	⑨	⑬⑬⑬⑬⑧
11	クレッシェンドラヴ	牡	7	57	内田 博幸	林 徹	3	⑧	⑥⑥⑥⑥
12	ウグネリアン	牡	6	57	吉田 隼人	友道 康夫	3	⑤	③③③⑥
13	ハッピーグリーン	牡	6	57	団野 大成	森 秀行	大差	⑬	②②③⑬

単勝 ⑧1,220円 複勝 ⑧230円 ①420円 ②110円 枠連(1-6) 16,360円
 馬連 ①-⑧19,080円 馬単 ⑧-①37,610円 ワイド ①-⑧2,750円 ⑦-⑧390円 ①-⑦850円
 3連複 ①-⑦-⑧7,240円 3連単 ⑧-①-⑦106,210円

ハロンタイム 12.4-11.1-12.1-12.1-12.1-12.8-12.2-12.1-11.6-13.1
 通過タイム 600米35.6-800米47.7-1000米59.8-1200米1:12.6-1400米1:24.8-1600米1:36.9-1800米1:48.5

優勝馬 レイパバレ

2017.1.28生 父ディーフィンバクト 母シェルズレイ 母の父クロフネ 安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)キャロットファーム